

国立感染症研究所の視察の結果概要

日 時： 平成 28 年 9 月 9 日（金） 13:30～16:30
 場 所： 国立感染症研究所村山庁舎（東京都武蔵村山市）
 参加者： 地域連絡協議会委員 10名（別紙1のとおり）
 国立感染症研究所 脇田副所長、西條ウイルス第一部長、棚林ハイセーフティ管理室長、田中業務管理課長

視察内容：

- ① 国立感染症研究所の概要等の説明
- ② BSL4施設の視察
- ③ 隣接する住宅地、学校などの敷地内・外周見学
 （研究所周辺の地図は別紙2参照）



概要説明の様子



敷地内・外周見学の様子

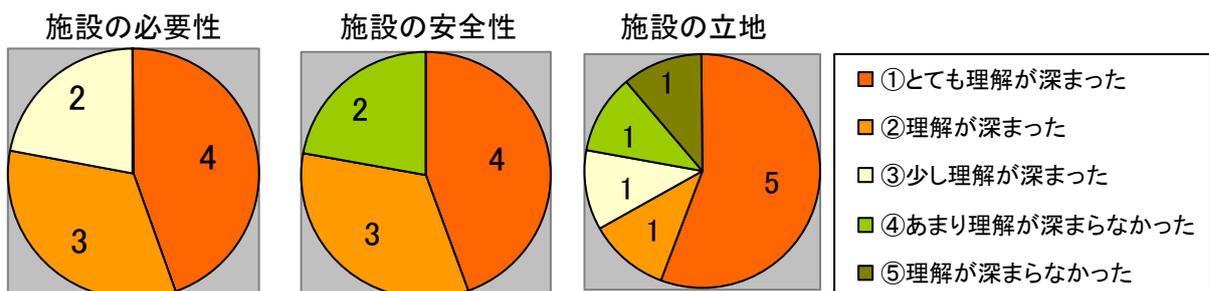


BSL4施設の概観

施設内部で使用している安全キャビネット
 （写真提供：国立感染症研究所）

感染研視察後のアンケート結果

（各項目への理解を尋ねるもの。議長分は集計せず。詳細は別紙3）



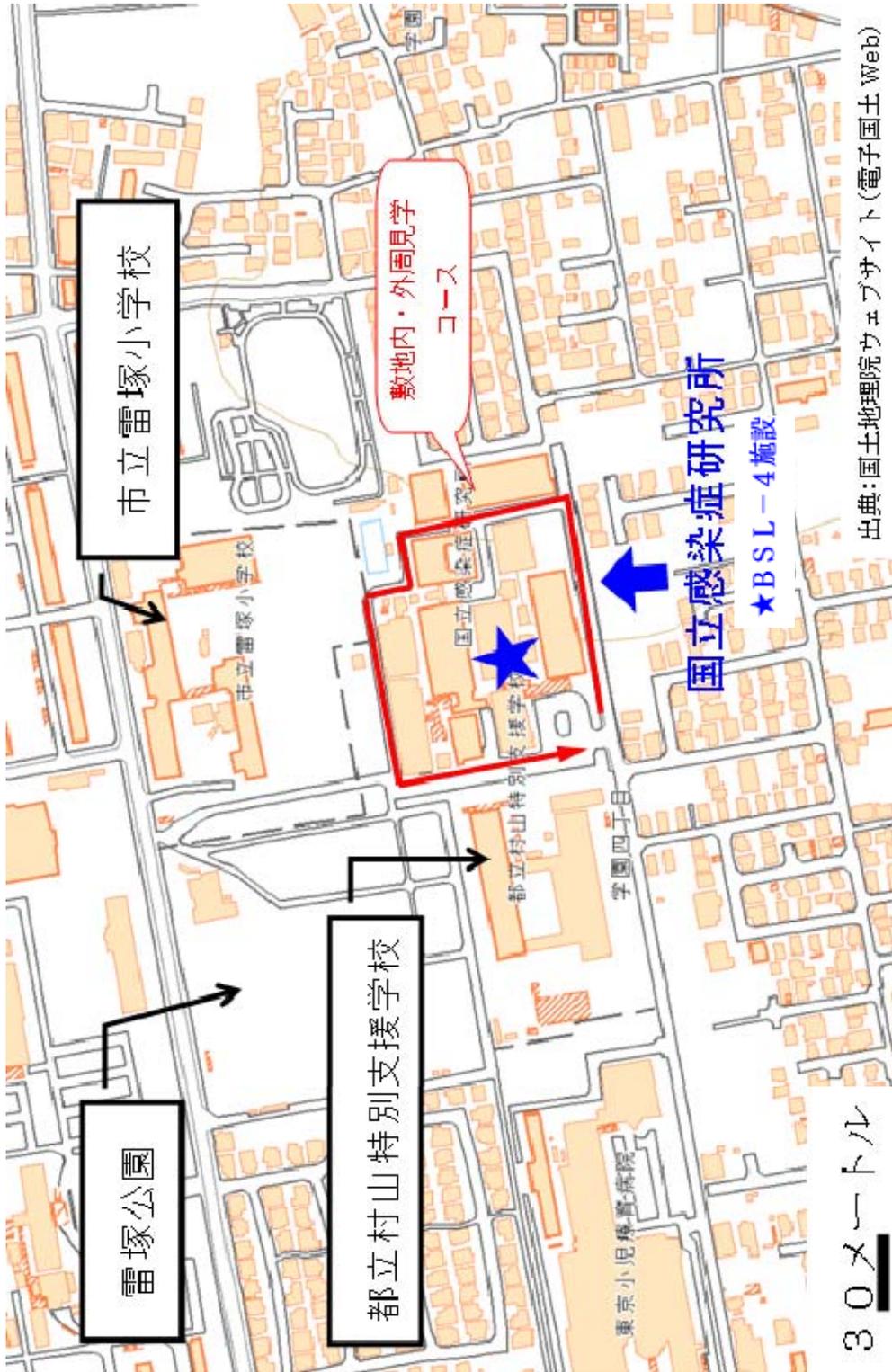
国立感染症研究所の視察参加者（10名）

| | |
|--------------------|-------------------------------|
| フジモト アキヒロ 藤本 昭広 | 長崎市平和町自治会副会長(代理出席) |
| クメ タダシ 久米 直 | 長崎市山里地区連合自治会長 |
| ドウツ ヤスコ 道津 靖子 | 山里中央自治会長 |
| ヤマグチ ヨシノブ 山口 義信 | 長崎市江平自治会長 |
| ハラ タクヤ 原 拓也 | 長崎市PTA連合会会長・山里小学校PTA会長 |
| カンダ キョウコ 神田 京子 | 公募委員 |
| テライ ミキオ 寺井 幹雄 | 公募委員 |
| フジワラ ヨシヒロ 藤原 義博 | 公募委員 |
| ヤマシタ ハジメ 山下 肇 | 弁護士 |
| シラベ ススム 調 漸 | 地域連絡協議会 議長 長崎大学・学長特別補佐・副学長 |

※ 地域連絡協議会委員の総数は26名。

※ 視察への参加者は、地域連絡協議会委員のほかに、長崎大学職員6名、報道関係者7名（日本経済新聞2名、長崎新聞、読売新聞、朝日新聞、長崎放送、テレビ長崎各1名）。

国立感染症研究所村山庁舎の周辺地図

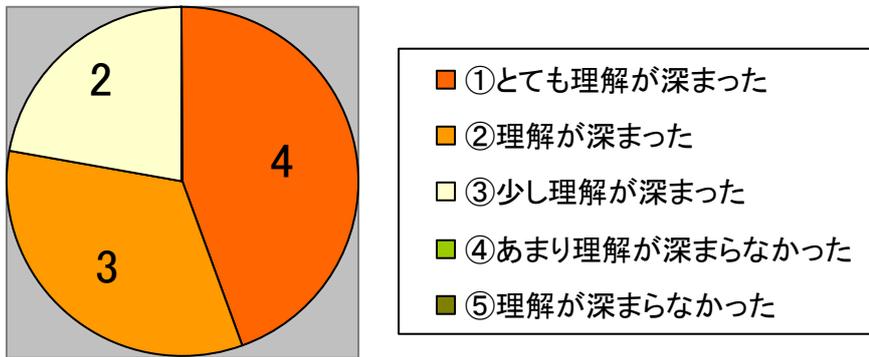


国立感染症研究所の視察 (H28. 9. 9) を終えてのアンケート
集計結果 (詳細版)

- アンケート回答者： 視察に参加した地域連絡協議会委員（議長除く）9名
※ 参加者の個人名は伏せさせていただきます。

1. BSL4 施設の必要性について

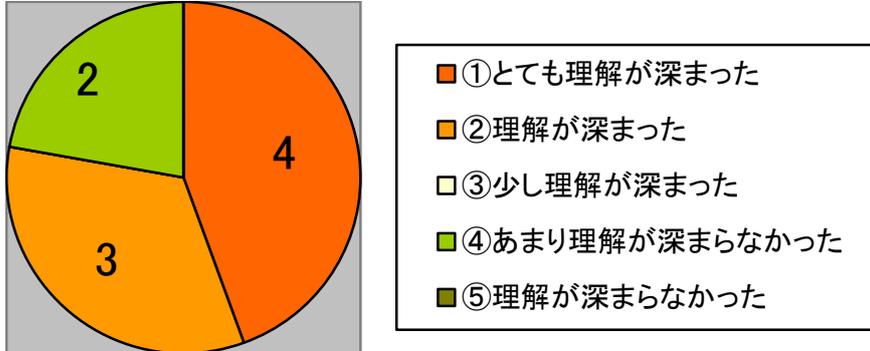
今回の視察で BSL4 施設の必要性について理解が深まりましたか。



| 参加者 | 回答 | 自由記述 |
|-----|----|---|
| A | ② | |
| B | ① | |
| C | ③ | |
| D | ① | もともと医学の歴史をみても、今まで幾多の病原体を抑え込んできたのは医学の力である。 |
| E | ① | 実際にそこで研究を行っている西條部長の臨床をもとにした志などに触れることもでき、ますます施設の必要性を感じました。 |
| F | ③ | |
| G | ① | 協議会に参加する前から必要性を理解していましたが実物を見、先生方の説明を聞き更に理解が深まりました |
| H | ② | |
| I | ② | |

2. BSL4 施設の安全性について

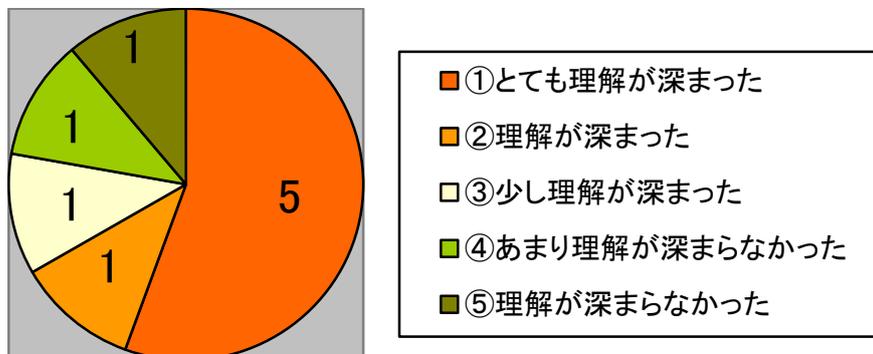
今回の視察で BSL4 施設の安全性について理解が深まりましたか。



| 参加者 | 回答 | 自由記述 |
|-----|----|--|
| A | ② | |
| B | ① | |
| C | ④ | やはり住民の安全性より、自分達（研究員）の安全性ばかりの話であった。近くの小学校への安全対策等が全くまだしていないのには驚いた。 |
| D | ① | 施設の中に入るの、容易ではない。二重にも三重に厳重対策が施されていると思った。 |
| E | ① | 厳重なセキュリティチェックや、重厚なとびらなど設備・システム的には安全性が確保されているのを確認できました。 |
| F | ④ | 安全性に対する考え方及び対応にもの足りなさを感じた。技術者の安全を第一に考えており、住民への配慮は感じられなかった。 |
| G | ① | 非常に高いレベルの安全性と感じました。私は万が一の事故が起こるとすれば感染動物の逃走による接触感染の危惧を持っていたが実際の施設の出入口を見たとき逃走は不可能と感じました。 ただ退出時の持ち物検査がなされていないのは少し残念です。長大では実施して頂きたいと思います。 |
| H | ② | |
| I | ② | |

3. BSL4 施設の立地について

今回の視察で BSL4 施設の立地について理解が深まりましたか。



| 参加者 | 回答 | 自由記述 |
|-----|----|---|
| A | ③ | 立地の必然性に関しては、今後の説明が必要だと感じます。 |
| B | ① | |
| C | ⑤ | 稼働していなかった（35年間も）BSL-4 施設は、危険なものではないので、住宅地になっていったことなので、住宅地に立地されているよとの理解にはなりません。 |
| D | ① | 住宅地のまん中に施設があるのに驚いた。しかも、新しい住宅が次々に建設され、施設についての理解がかなり住民に進んでいるようだ。 |
| E | ① | 貢献や研究効果を考えると、利便性からも複合的に研究設備が併設されるのが望ましいと考えました。近隣住民の理解さえあれば、どこでも良い。 |
| F | ④ | 新しい住宅が建っているのは、長年研究が稼働していなかったからではないかと思うが、住民からの不安がきかれないう説明には疑問が残った。 |
| G | ① | 考えていたよりも近接していた。しかし周囲の状況を見ると殆ど緊張感も無く、ごく普通の日常を感じました。地域への貢献もされており住民から受け入れられていると感じました。住宅地に隣接していても問題ないという思いが更に深くなりました。 |
| H | ① | |
| I | ② | |

4. その他、ご意見、ご感想

| 参加者 | 自由記述 |
|-----|--|
| A | |
| B | <p>色々な角度から、安全性の面、立地の現況、学校など住宅地区、チェック制度の重要性、施設強度などを見せてもらい、長崎の場合を考えると、いけるのではと云う自信を感じた。特にエボラの研究をBSL-2ですか、BSL4 ですかですが、この事は、本当に大切な事であると思う。</p> |
| C | |
| D | <p>安全な施設であるということが良く理解できました。</p> |
| E | <p>貴重なお時間を割いていただいて、大変ありがたい学びができたことに感謝いたします。</p> |
| F | <p>今回、視察に参加させていただき、有意義でした。国立感染症研究所は、国内でエボラの疑いが出た場合、感染者の生命を守るために必要な診断や治療に関する業務に特化すると厚生大臣の確認事項に記載されていますが、実際には、基礎研究やワクチン研究・教育を行うとの説明があったことは、長崎大学での施設建設の必要性が通らないのではないかと思う。</p> |
| G | <p>今回の視察は今後の協議会に実に有益なものだったと思います。一緒に見学された方々も同じような反応だったと思います。</p> <p>今日は村山庁舎見学をさせて頂き誠に有り難うございます。お陰さまで実に良いものを見せて貰い安全性が高くて住宅地に隣接しても問題ないと確信することが出来ました。今後の会議に活かしたいと思います。</p> |
| H | <p>研究所のスタッフの方の、親切、ていねいな説明でしたので、とても理解が深まりました。</p> |
| I | |